



広報

ごじょうめ

今月のひとコマ

高校生が大学生と連携授業

県立五城目高校では、昨年10月から東京大学大学院や明治大学国際日本学部と連携した授業を行っています。ちょっと年上のお兄さん・お姉さん先生と五城目町のことや未来の社会のこと、自分の将来のことを教科書から離れて勉強しました。

平成28年 3月号

FEBRUARY 2016 No.980



www.town.gojome.akita.jp



五城目町観光PRキャラクター
たまごちゃん

五城目高生の成長を応援



国連大学
長尾眞文客員教授
(大学院の調査に同行、
持続可能性学の第一人者)

地域の課題を話してくれたのは、五城目高校の生徒や国際教養大学・東京大学大学院の学生たちでした。若い人たちに考えることの大切さを伝えたかったのですが、私が言いたいのはその先のことです。

皆さんに聞きたいのは、“次世代にどう投資するか”ということです。普段から次世代を育成しているのに、なぜ五城目の若い人は流出していくのか。何かが変わらなければなりません。すなわち、次世代への投資を、若い世代に任せなければなりません。

五城目高校の1、2年生が大変面白い研究をしました。「私は生徒たちがソーシャル・ラボの研究を続けていくのなら投資します」という方はいますか。投資をする方は、その投資を回収するために、研究の成果を聞かなければいけません。次世代を担う生徒に投資をして、報告会までは口を出さずに黙って見ている。大人の入知恵をしない。それだけの自信がなければ次世代を育てていく価値はありません。そういう先行世代がいるところに次世代が育ちます。

なぜ私がそれを言うかという、高校生の1人が、「以前は高校を卒業したら県外に行くつもりだった。ところが今回この経験をして県内に居ることを考えるようになった。おそらく五城目にずっと居ることになるだろう」と話してくれました。それが本当になるかは問題ではありません。たった5か月の間だけれど大人たちと一緒に研究したことで、生徒たちに考えさせた。しかも、その結果を我々は聞いてあげた。これを大人がやれる器量を持つ地域にはじめて若い世代が育っていきます。

私は五城目に1週間滞在させていただいて、勇気と希望を持ちました。また来ます。大変ありがとうございました。

東大大学院と連携し 社会の持続可能性を探る

1月29日、朝市ふれあい館で、東大大学院との連携授業に取り組んできた五城目高校生1・2年生のソーシャル・ラボのグループ7人が、授業の成果を発表しました。

「祭り」についての発表では、町内に伝わる祭りを調べ、「言葉やささらなどを伝承していくには若い世代の意識を改革することや、若者が祭りに取り組みやすい環境が必要ではないか」と課題を整理しました。

また「エネルギー」についての発表では、「昔は町の豊かな森林資源を背景にした炭づくり

をし、それを利用していたが、現在は灯油などを利用するようになり、炭づくりは行われなくなった。今後は炭の使い方が変化してきたことと合わせて、森林資源をエネルギーとして活用する方法があるのではないかと研究の成果を話しました。

大学院生は 小売業と誇りを調査

五城目高校生に引き続き、東大大学院の新領域創成科学研究科の院生7人と国際教養大学の学生6人が、「農山村地域の小売業」と「地域の誇りと移住」の二つのテーマで、町民への聞き取り調査の報告が行われました。大学院生らは、人口減で縮小

する社会を持続させる糸口を探ろうと高齢化率の高い当町で調査をしました。

買い物状況調査した班は、「スーパーや朝市はそれぞれ役割が異なり、共存している。しかし、朝市出店者が高齢化し、後継者の確保が必要」と課題を発表。

また、誇りと移住を調査した班は、「五城目町民はみんな町に誇りを持っている。情報を発信することにより、町内外で町を応援する人たちが増えてくる」と発表しました。

大学院での調査は今後3年間続けられ、ホームページなどで発表されます。

「人生の土台」を獲得



五城目高等学校
亀田 茜教諭
(東大大学院との
連携授業を担当)

近年、愛郷心の薄い生徒が増えていくように感じています。しかしラボの活動を進めていく中で、新しい知識が既存の知識と結びついた喜びや、地域の方々の郷土に対する熱い思いに触れた感動が、徐々に生徒たちを変えていきました。

彼らはふるさとの価値を見出し、それによって自らの依って立つ「人生の土台」を獲得できたのではないかと思います。



朝市ふれあい館で「祭り」と「エネルギー」についての研究成果を発表する五城目高校ソーシャル・ラボチーム



買い物客から買い物の状況や小学生から町の誇りを調査する大学院生 東大大学院生らは「町民の誇り」などを発表

地域を学び未来を考える 五城目高と東大大学院が連携授業

次世代が考える五城目



東京大学大学院
工藤尚悟特任研究員
(大学院生を指導、
能代市出身)

地域のことを研究する「五城目ソーシャル・ラボ」では、祭りとエネルギーについて調査しました。はじめは地域のことにあまり関心なかった五城目高校の生徒も、五城目の歴史や風土に触れ、徐々に地域に対する思いを強めてきました。

今後も活動を通じて自分たちの足元を見つめて、将来、地域外に出て行くことがあっても五城目町とつながっている若者を育てていきたいと思っています。

県立五城目高校では、昨年10月から東京大学大学院、明治大学それぞれと連携した授業を行っています。五城目高校の生徒は大学生らと町の将来像や、町を持続させるための方法、15年後の社会を想像し、将来の生き方を考えることに取り組んできました。そのことにより、地域の可能性や資源を見だし、卒業後の進路や人生に役立てようとしています。

両大との授業は地域おこし協力隊の石田万梨奈さん、柳澤龍さんの人脈が縁になって始まりました。

1月29日には、東大大学院生らと授業を取り組んできた「ソーシャル・ラボ」のグループが「祭り」、「エネルギー」についての研究を発表しました。

また2月4日には、明大生と授業に取り組んできた2年生97人が、15年後の将来を想像するワークショップを行いました。

地方で生きることの意義



明治大学
国際日本学部
岸磨貴子特任講師
(連携授業を担当)

様々なご縁で実現した五城目高校との連携授業は、明治大の学生たちが議論を繰り返し、半年かけて準備をしてきました。

五城目について調べていくうちに、日本が抱える過疎や少子高齢化などの社会問題と同時に日本の地方の美しさ、これからの新しい生き方、働き方について知ることができました。そういった側面を知ることによって「地方で生きる」「地方とつながる」ことの意義、価値について考え始めました。

私たちにとって五城目は、新しい土地、新しい人、新しい価値観、新しい関心、これからの未来との「つながり」をつくってくれた場所です。

五城目高校だからこそ可能となった授業



五城目高等学校
石黒みどり校長

本校では、調べ学習や意見交流・ディベートなど、生徒がより能動的に学習する授業スタイルを実践していますが、もう一段高い視野に立ち、考え、表現する力を獲得する方法を検討していました。そこに、地域おこし協力隊の皆さんとのご縁を頂戴し、今回の授業が実現しました。

明治大学や東大大学院と連携したこの授業を通じて「考えること、想像すること、表現することが楽しくてしかたがなかった。自分の今が未来と地続きであることを実感できた」という生徒の感想が学習の成果を物語っています。

五城目高校だからこそ可能となった授業開発に「感謝」です。

明治大学と連携し 15年後の未来を考える

2月4日、五城目高校で、五城目高2年生と明治大学国際日本学部とが進めてきた連携授業のまとめのワークショップが開かれました。この授業は、生徒に地域の未来を考えてもらおうとする五城目高校と、日本が抱える過疎や少子高齢化などの社会問題を当町での実践を通じて学ぼうとする明治大学が連携することで行われました。

ト、仕事などをテーマに15年後の将来を想像し、それぞれの2030年の社会を思い描きました。この日のワークショップでは、10人程度のグループに分かれ、明大生の指導で、取り組んできたテーマについて、調べたことをまとめ、2030年の社会や自分はどうなるかなどを職業に就き、結婚し、子どもは何人いるかなどを発表しました。



今後15年で社会はどのように変化するかなどを小グループに分かれ意見を出し合う生徒たち



大学生の指導で五高生が2030年の社会や自分の姿を想像



模造紙にみんなの意見をまとめ、2030年の社会の姿を発表

未来につながる学習を



五城目高等学校
三浦貴子教諭
(明治大学との
連携授業を担当)

「2030年を考える」。このテーマで学習を始めてからの生徒たちは、通常の授業とは異なり自分の将来を、社会の未来を真剣に考えていました。既存の知識をフル活用し、不足している知識は自ら調べ学習を進めました。そして、何よりも自分の言葉で、それを伝えることができたことが最大の成果です。今回の学習が、生徒たちの未来につながっていく学習であると信じています。

2030年の社会は グローバル化



五城目高等学校2年
□□さん

明大生との連携授業では、情報化について調べました。15年後は情報化が進み、外国の人とも身近になり、知識を共有でき、社会はグローバル化していくと思います。そうすることで、世界平和にもつながっていくと思います。

2030年 世界中に映像を配信



五城目高等学校2年
□□さん

2030年の私は、映像制作の仕事に就き、その映像を世界中の人に見てもらえるようにインターネットを駆使して配信していきます。そのために知識を増やし、新しいことにチャレンジし、たくさんの方の経験を積んでいきます。



大学生の的確なアドバイスで進められる授業



地域おこし協力隊の石田さんと柳澤さんも授業を指導

地域を学び未来を考える 五城目高と明治大学が連携授業

地域おこし 協力隊通信



次世代への投資と、若い人が育つところ

◆五城目高校の発表に感動
五城目高校の生徒たちは、15年後には30歳になり町を担うリーダーになります。五城目高校は郡内唯一の高校であり、教育機関としてだけでなく地域にとって重要な役割、町の未来を担う

人を育てる場所でもあります。

高校生に「五城目の未来はどうなると思う?」と聞くと、「人口が減ってなくなる」「仙台か東京に行くからわからない」という答えが返ってききました。その一方で「五城目のことは当たり前すぎて、調べたことも考えたこともない」という意見もありました。そこからスタートしたのがソーシャル・ラボです。

10月にソーシャル・ラボを立ち上げ、11月からは研究テーマを絞り込み、県立図書館での情報収集、調査テーマの設定をして地域での聞き取り調査の内容を作成しました。新年早々に祭りやエネルギーのインタビュを2日間実施。結果を学会で使われる研究発表の構成でまとめました。

ワークショップが終わった後も名残りおしそうにお話はずみむ五高生と明大生

1月29日に東京大学大学院のサステナビリティ(持続可能性)の研究グループが町に1週間滞在して研究した結果発表会を朝市ふれあい館で行いました。その発表に合わせて五城目高校

の生徒たちも発表をしました。発表は大盛況で、「五城目高校の生徒は、素晴らしいね!」とたくさんの方々にお声かけいただき、胸が熱くなりました。発表会前日、「町に残ることを考えるようになった」と1人の生徒が話してくれました。立ち止まって、足元を楽しみながら知る、そこで地域の大人が彼らのやりたいことを応援するとき、次世代が育つ。次世代への投資の場がソーシャル・ラボです。(担当:柳澤龍)

◆高校生、大学生が 刺激的な授業を実践

2月4日、五城目高校と明治大学国際日本学部が5か月間連携して進めてきた授業のまとめとなるワークショップが開催されました! 対象は、五城目高校2年生97人。

当日は、明大生の熱血☆司会! でスタート。「今日重要なことは、熱い情熱・勇気・笑顔! 15年後の未来の社会や、そのとき自分自身がどうありたいか考えてみる授業です。まずはこの機会を『楽しんでもん勝ち』!!」各テーマに分かれて、グループワーク。「生涯学習」「結婚」「地方or都会」などさまざまなテーマを設定。

大学生が、「勉強する場が学校だけじゃなくなるのかもしれない!」など、ちょっと先を歩くお兄さんお姉さんの視点を提供して、生徒たちはこれ

からの社会、そこで自分がどこでどのように生きていきたいか、想像力を巡らせた。

一方、大学生にとって、五城目町は学びの宝庫。滞在中、町活性化支援センターで協力隊の活動を知り、シェアビレッジ町村でのイベントに参加してもらいました。そして、町民のご厚意で郷土料理「きゃのこ汁」や夕食を「ちそう」になり、本当に幸せだ〜と。

「今後、自分に何ができるのか、模索は続きますが、今回の経験はすごく良いもので、記憶に残り続けるものだと確信しています。今後もし何らかの形で五城目に関わらせてください!」東京では学ぶことができないこと、海外では感じるできなかったこと、五城目に行ったからこそ、学ぶことや感じる事ができたこと。この数日間を通して、自分自身の何かが変わる大きな契機になりました。

大学生や都市に暮らす人々にとっては、五城目の普通の暮らしがとても新鮮な場所なのです。そして、そんな旅人を温かく迎えてくださるお宅を募集中です。

5か月間の授業、すぐ結果が現れることはないと思いますが、この交流での経験が関わった生徒や学生達にとって、より視野を広げて、自分の道を開拓していくためのきっかけとなりますように! (担当:石田万梨奈)

町の地方創生施策を定める

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「人口ビジョン」を策定しました

町では、雇用創出や地域活性化の指針となる「五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と2060年の町の人口目標を定める「五城目町人口ビジョン」を策定しました。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、今後5年間に取り組む地方創生に関する施策を定めました。

「人口ビジョン」では、町の人口の現状を分析し、2060年までの人口を推計し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を定めました。

策定にあたっては、町民アンケートを実施したほか、子育て世代、移住者、金融機関、町内企業、農業、町内会、社会福祉協議会、関係係者らによる策定審議会で、内容を審議いただきました。



総合戦略、人口ビジョンの原案を審議し渡邊町長に答申する岸拓也まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会会長(左)

地域活性化の指針

まち・ひと・しごと 創生総合戦略

「五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、町の最上位計画の「総合発展計画」との整合性を図り、人口問題に焦点を当て、政策を整理し、「人口減少の克服」、「地方創生」に特化した取り組みの充実、強化を図っています。

「しごとづくり」、「移住・定住対策」、「少子化対策」の三つの基本目標を定めています。推進期間は、平成27年度から

平成31年度までの5年間です。

若い世代への

若い世代の定着、移住の促進を図るため、安定した雇用の創出に取り組みます。

「五城目町ブランド」を構築し、産業連携を進め、起業家支援や移住者就業支援を中心とした施策を展開します。

「町総合発展計画」に基づき町の基幹産業の農林業の振興や、伝統産業の保護に努めるとともに、本総合戦略では、人口減少の抑制に効果の高い施策を中心に取り組みます。

② 移住・定住対策

町外からの移住促進を図るため、移住希望者を中心に首都圏等に住む若い世代を本町に呼び込む施策を展開します。移住者に対して、総合的な支援事業を整えることで、移住先として選ばれる地域を目指します。

本総合戦略では、転入世帯数の増加を目標に、町内外へ地域の魅力を強力にPRすることで本町への「ひと」の流れを増やし、町民の地域愛の醸成を図り、若い世代にPRすることで、若い世代の地元定着を促します。

③ 少子化対策

地域の発展・存続には、町で生まれ、育つ子どもの数を増やしていくことが何より重要です。本町では夫婦が望む数の子どもを安心して生み育てられる環境をつくり、次の「もう一人」を促す施策・事業を展開することで、本町の出生率の向上を目指します。

本総合戦略では、子育て世代に向けた経済的支援の拡充を図り、男女の出会い、結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援を行います。また、町の将来を担う子どもたちがグローバルな視点を持ち、さまざまな体験ができる環境をつくりたい。

2060年目標人口 4,387人とする 人口ビジョン

「五城目町人口ビジョン」では、町の合計特殊出生率を緩やかに上昇させ、人口減少の速度を抑制し、平成52年(2040年)には5,956人、平成72年(2060年)には4,387人の人口を維持することを目標にしています。



詳しい「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「人口ビジョン」については、町のホームページや、3月1日にお配りした「広報」じょうめ特集号をご覧ください。
※お問い合わせは、町まちづくり課 ☎0852・53361(まで)

明るい選挙・大切な一票



五城目町明るい選挙推進協議会
会長 新谷 研逸

任期満了に伴う町議会議員選挙が、3月27日(日)に行われます。

五城目町明るい選挙推進協議会では、健全な民主政治と豊かで安定した社会の発展を願い、多くの有権者や候補者によって、明るく正しい選挙が行われることを願っています。

「明るい選挙」とは、ずばり、買収や接待といった選挙犯罪や義理人情による選挙を排除し、公正かつ適正に選挙が行われ、その結果に選挙人の意思が正しく反映されることであると考えております。そのためには、有権者も候補者も、「贈らない」「求めない」「受け取らない」のいわゆる「三ない運動」の徹底を図っていただきたいと願いたします。

一方、昨年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が成立・公布され、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられることになりました。今回の町議会議員選挙ではまだ適用されませんが、今年7月の参議院議員選挙では、初めて18歳・19歳の方も投票できるようになります。

この改正が、各種選挙における投票率の低下傾向に一石を投じ、さらに若い世代の投票率向上につながることを期待しています。また、当協議会でも、若い世代を対象とした啓発活動の展開を図っていけたらと考えております。

選挙権は、日本国憲法に基づく皆さんが有する、大切な権利の一つです。今回のような身近な選挙では、皆さんが有する一つ一つの権利が、町の進むべき未来に大きな影響を与えます。ぜひ、皆さんの願いが込められた一票がより多く集まり、その結果が将来のより良いまちづくりにつながることを願いたします。

町議会議員選挙の投票日は 3月27日(日)です

任期満了に伴う五城目町議会議員一般選挙を
3月27日(日)に行います。
将来の明るいまちづくり、より良いくらしの実現に、
皆さんの願いを込めた一票を投じてください。

投票できる方

平成8年3月28日以前に生まれた方で、平成27年12月21日以前から引き続き五城目町の住民基本台帳に登録されている方。
※ただし次の方は投票できません
・公民権停止中の方
・日本国籍の無い方

投票日

3月27日(日)
午前7時から午後7時まで
※馬場目第3、富津内第2投票区の投票時間は午後6時までです。
※3月10日(休)以降に町内転居の届出をされた方は、転居前の投票区で投票することになります。

告示日・立候補届出

3月22日(火)
立候補の届け出の受け付けは、3月22日(火)午前8時30分から役場2階正庁で行います。

開票

開票と選挙会は、3月27日(日)午後8時から、役場2階正庁で行います。
※一般の参観席は、先着30人まで。参観の受け付けは、午後7時から、役場1階のロビーで行います。

投票所入場券

告示日以前に、郵便での配達を予定しています。ただし、投票日までには町外へ転出された方は、この選挙の選挙権を失います。

告示日にご自宅へ届いていない方、選挙権について不明な点がある方は、町選挙管理委員会へご連絡ください。
また、入場券に記載された投票所、投票時間をよくご確認ください。

期日前投票

投票日当日に、投票所へ行けない見込みの方は、期日前投票ができます。
・期間 3月23日(水)から26日(土)の4日間
・時間 午前8時30分～午後8時
・場所 役場3階 会議室
※投票所入場券をお持ちください。
※告示日の3月22日(火)は、期日前投票も不在者投票もできませんので、ご注意ください。

(お願い) 投票日当日の投票所は、既存の施設を利用しているため、車イス用の記載は備えていません。車イスをご利用の方は、期日前投票をお勧めします。役

不在者投票

不在者投票ができる期間は、3月23日(水)から26日(土)までの4日間です。

期間が短く、選挙期日間に請求された投票用紙は、その投票を受理できない場合があります。不在者投票をされる方は、告示日前であっても構いませんので、早めに連絡ください。ようお願いします。

①指定の病院や施設に入院(所)中の方
指定施設内で不在者投票ができます。早めに施設等の職員の方にお問い合わせください。

②投票日当日、町外に滞在中の方
滞在先市区町村の選挙管理委員会に不在者投票ができます。早めに五城目町選挙管理委員会にご連絡ください。

選挙に関するお問い合わせ 町選挙管理委員会 (0852・5318)

町議会3月定例会の日程(予定)

町議会を傍聴してみませんか

- ❖3月 3日(木) 午前10時～
本会議 町長・教育長施政説明
- ❖3月 4日(金) 午前10時～
本会議 一般質問、議案上程
- ❖3月 7日(月) 午前10時～
本会議 議案上程
- ❖3月 8日(火)、9日(水)、10日(木)
各常任委員会
- ❖3月11日(金) 午前10時～
本会議 各常任委員長報告、質疑、討論、議決

お問い合わせ 町議会事務局(☎852・5411)



投票所一覧

〔投票時間：午前7時～午後7時〕
〔※ただし、馬場目第3、富津内第2投票区の投票時間は午後6時までです。〕

森山	第2大川	第1大川	内川	第2富津内	第1富津内	第3馬場目	第2馬場目	第1馬場目	第5五城目	第4五城目	第3五城目	第2五城目	第1五城目	
野田・岡本・浦横町	石崎・西野・谷地中	大川・下樋口・曙町	湯ノ又・小川口・浅見内	脇乙・落合・高千・北北口	上山内・富田・八田 台御蔵下・黒土・小倉	恋地・坊井地・杉沢・合地	寺庭・中村・平ノ下・水沢	帝釈寺・町村・門前・蓬内台 小野台	昭辰町・雀館・館町・中川原 樋口(上)・上樋口(下) 樋口・岩城町 老人ホーム・広青苑	久保・新里町	下高崎・高崎・上高崎・館越	川原町・長町・仲町・米沢町 御蔵町・新町・一番町 古川町・紀久栄町・小池町	畑町・新畑町・東磯ノ目 西磯ノ目・矢場崎 字七倉16番地19と16番地21	今町・築地町・上田町 下山内
集山区公民館	西野公民館	大川多目的集会所	生きがいセンター	中津又地区 コミュニティセンター	富津内地区公民館 研修室	杉沢交流センター 友愛館	中村公民館	ふれあいセンター 多目的ホール	町民センター	馬川交流センター	五城展示ホール	役場庁舎1階 町民談話室	もりやまこども園 ゆうぎ室(五城目 保育園・幼稚園)	

感染症から子どもを守ろう！ 3月1日(火)から3月7日(月)は 子ども予防接種週間

お子さんの予防接種は、もうお済みでしょうか。接種漏れが無いよう、もう一度母子手帳を確認してみましょう。
【週中は土・日曜日でも接種が受けられます】

県内の医療機関が協力して、診療時間外の予防接種を行います。

通常の診療時間にお子さんの接種ができない方は、ぜひこの機会に受けてください。

▼接種の申し込み
接種を受けられる時間が決まっているので、必ず3日前までに医療機関へ予約してください。



M、二種混合、 高齢者用肺炎球菌ワクチンを受けましょう！ 接種期限は3月31日(木)です

定期予防接種の対象年齢となっている次のお子さんは、接種期限が迫っています。早めに予防接種を受けよう。にしましょう。

▼麻しん風しん(MR) 予防接種の対象年齢
第2期：5歳以上7歳未満(今年の4月に小学校へ入学するお子さん)
▼二種混合(ジフテリア・破傷風) 予防接種の対象年齢
小学6年生・平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ

※高齢者用肺炎球菌予防接種は平成28年3月31日までの接種に限り1人3,000円の助成が受けられます。(対象の方には5月に通知をします)
※接種期限を過ぎると有料または助成対象外になりますので、未接種の場合は早めに接種するようにしましょう。

お問い合わせ 町健康福祉課 (☎852・5180)

元気な歯っていいね！ 3歳児歯科健康診査 虫歯ゼロ(2月1日)



2月1日の3歳児歯科健康診査で、虫歯のなかったお友達です。
町健康福祉課 ☎852・5180



〇〇 〇〇くん
(高崎)



〇〇〇〇〇〇くん
(田町)



〇〇 〇〇ちゃん
(寺庭)



〇〇 〇〇くん
(紀久栄町)



〇〇 〇〇ちゃん
(新畑町)



〇〇 〇〇ちゃん
(雀籠)



〇〇 〇〇ちゃん
(雀籠)

遊びにおいでよ 「わんパーク」

お子さんを遊ばせながら、子育てやお子さんの健康などについて一緒にお話ししてみませんか。楽しい遊びを用意してお待ちしています。

- ▶対象 町内の保育園等入園前のお子さん
と保護者(乳児も大歓迎です)
- ▶時間 午前9時30分～
午前11時30分
- ▶場所 もりやまこども園
- ▶3月2日(水) ひな祭り会をしよう
- ▶3月17日(木) ミニミニカレーパーティに参加しよう！

お問い合わせ
もりやまこども園(☎852・3805)

3月 乳幼児健診お知らせカレンダー

- | 健診 | その他 |
|--|---|
| 7日(月) 3歳児健康診査
対象 平成24年8月3日～31日
受付 12時45分～13時15分
場所 役場1階保健室 | 8日(水)・22日(水) 母子手帳交付・妊婦相談
時間 9時～15時
場所 健康福祉課
※交付日以外で交付を希望される方は、事前にご連絡ください。 |
| 28日(月) 乳児健康診査 (4・7・10か月)
対象 平成27年5月、8月、11月
受付 12時45分～13時15分
場所 役場1階保健室 | 23日(水) 離乳食づくり教室
対象 対象者には通知済みです
時間 10時～正午
場所 ケアセンター五城目 |

町健康福祉課 ☎852・5180

ほっとサロン

物忘れで困っている人やご家族、認知症を予防したいと思っている人、認知症の人を支えたいと思っている人など、色鉛筆画を通してほっとしてみませんか。



- ▶日時 3月3日、10日、17日、24日、31日(木曜日)
- ▶時間 午後1時～午後3時
- ▶会場 ケアセンター五城目 1階
- ▶講師 認知症サポーター 久保市勲さん(畑町)
- ▶持ち物 画用紙、ねり消し(消しゴム)、鉛筆、色鉛筆、飲み物など

※参加は無料です。

お申し込み・お問い合わせ
町地域包括支援センター(☎855・1070)

献血のお願い

2月15日、町内4会場で献血を実施した際、多くの方々よりご協力いただきました。ありがとうございます。

3月6日(日)の献血にもご協力をお願いします。



- ▶実施日 3月6日(日)
- ▶場所 イオンスーパーセンター五城目店
- ▶受付時間 午前10時～午後0時30分
午後2時～午後4時

※献血にご協力いただいた方には、粗品を進呈しています。

お問い合わせ
町健康福祉課(☎852・5180)

これからも
お元気で。
元気に長生き!

町で100歳と90歳を
迎えられた方を
ご紹介します
※掲載を希望しない方は、お祝いの両うら
みにお知らせください。

◆100歳を迎えられた方(2月20日現在)

- 2月 4日 □□□□さん(いこいの里)
- 2月 6日 □□ □□さん(広青苑)

◆90歳を迎えられた方(2月20日現在)

- 2月 3日 □□ □□さん(下高崎)
- 2月10日 □□ □□さん(田町)
- 2月15日 □□ □□さん(富田)
- 2月15日 □□□□さん(紀久栄町)
- 2月20日 □□ □□さん(広青苑)
- 2月20日 □□ □□さん(西野)
- 2月20日 □□ □□さん(町村)
- 2月20日 □□□□さん(野田)
- 2月20日 □□ □□さん(下山内)

祝100歳! 散歩で元気



□□□□さん
(広青苑・大正5年生まれ)



2月6日、□□□□さんが満100歳の誕生日を迎えられました。
□□さんは畑町の出身で、□□さん(故人)とご結婚され、3女と4人の孫に恵まれました。若いころは農作業の手伝いや、公民館の生涯学習に積極的に参加されていたそうです。楽しみにしていることは、お茶会での友達とおしゃべりだそうです。
毎日散歩することが長寿の秘訣とのことでした。

祝100歳! 笑顔で暮らす



□□□□さん
(いこいの里・大正5年生まれ)



2月4日、□□□□さんが満100歳の誕生日を迎えられました。
□□さんは北ノ又で生まれ育ち、同じく北ノ又出身の□□さん(故人)とご結婚されました。子どもは5男、1女に恵まれました。そば打ちが趣味です。
長寿の秘訣は「好ききらいなく何でも食べること」「いこいの里で、「みんなとお話しをして笑って過ごせることが楽しい」とのことでした。

盆踊りが得意

□□□□さん
(下高崎)



八郎瀧町の出身で「盆踊りが得意」と□□さん。家族とお話したり、散歩をしたりするのが楽しみです。
ストレスをためないことが長寿の秘訣で、「医者にかかったり薬を飲んだりもせず、健康に過ごしています」とのことでした。

すしを握る

□□□□さん
(下山内)



料理が得意と□□さん。若いころはすし屋で、すしを握っていました。祭りのときには、にぎりずしや寒天を作って家族にふるまっていたそうです。
「歌うこと、何でもよく食べること」が長寿の秘訣とのことでした。

山菜採りが得意

□□□□さん
(町村)



山が好きで、2、3年前まで山菜を採りに行ってたという□□さん。野菜づくりも得意です。長寿の秘訣は何でもよく食べることに。
「ショートステイでみんなとお話することが楽しみ」と教えてくれました。

腹七分目で長寿

□□□□さん
(西野)



寺の総代を務めている□□さん。般若心経をそらで言うこともできるそうです。米価の値上げ運動に参加したことが一番の思い出だそうです。
「腹七分目を心掛け、塩分を控えること」が長寿の秘訣とのことでした。

笑顔で前向きに

□□□□さん
(広青苑)



野菜づくりが上手で、若いころは毎日のように畑へ出かけて、いろいろな野菜を作っていた□□さん。おしゃべりが楽しみです。
「誰とでも笑顔で、何事にもよくよしいで前向きでいること」が長寿の秘訣だそうです。

健康に気をつける

□□□□さん
(富田)



新聞を読むことと、日記をつけることを日課としている□□さん。日記は40年ほど続けているそうです。鉄筋関係の仕事で長年働いていました。
「なんでもよく食べ、健康に気をつけています」とのことでした。

ランを育てる

□□□□さん
(田町)



園芸が楽しみと□□さん。20年ほど前からランを育てているそうです。手先が器用で、パッチワークや編み物も得意です。
「好ききらいなく何でも食べる」と、家族みんな仲が良いことが長寿の秘訣とのことでした。



Nikki's Gojome Diary

五城目

ニッキのにつき

町の英語指導助手 (ALT) のニッキさんの連載エッセイです。聖パトリックの祝日のお話です。

St. Patrick's Day

In March, a popular holiday that is celebrated around the US is St. Patrick's Day. St. Patrick's Day is an Irish celebration of when Christianity was introduced to Ireland. It is celebrated around the world in various ways on March 17th. In America, St. Patrick's Day is a day that celebrates Irish culture. People wear green, drink beer and eat corned beef and cabbage, and there are many parades! In Chicago, the river is dyed green for St. Patrick's Day! A shamrock is a symbol often associated with St. Patrick's Day and Ireland. St. Patrick used a shamrock as a metaphor for the trinity (a Christian symbol).

Congratulations to all the graduating students from Gojome! Follow your dreams!



シャムロックを持つ聖パトリック

聖パトリックの祝日

アメリカで3月の祝日と言えば、聖パトリックの日です。聖パトリックの日はアイルランドにキリスト教が広まったことをお祝いする祝日です。3月17日は、世界中でいろいろな方法でお祝います。アメリカでは、聖パトリックの日はアイルランド文化をお祝います。緑色の服を着て、ビールを飲んだり、コンビーフとキャベツを食べたり、たくさんのパレードも行われます。シカゴでは、聖パトリックの日に川を緑色に染めます。

シャムロック(3枚に分かれている草)は、聖パトリックの日とアイルランドを連想させる象徴です。聖パトリックはシャムロックを三位一体(キリスト教において父と子と聖霊が一体であるとする教え)の隠喩として用いました。

五城目町の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます! 夢を追いかけてね!

がんばる人にまる

(敬称略)

第4回秋田県ジュニア水泳記録会

11歳~12歳女子

- ◆50M平泳ぎ
 - ▶第2位 五十嵐月衣 (五城目小6年)
- ◆100M平泳ぎ
 - ▶第2位 五十嵐月衣 (五城目小6年)
- ◆50Mバタフライ
 - ▶第3位 半田 彩夏 (五城目小6年)

第7回秋田県新春書初め席書大会

- ▶秀作 佐川 晶哉 (五城目小6年)

潟上市・南秋田郡学校保健大会

- ▶健康生活推進顕彰児童生徒
 - 小玉 隼矢 (五城目小6年)
 - 半田 彩夏 (五城目小6年)
 - 鈴木 亨 (五城目一中3年)
 - 澤田石穂香 (五城目一中3年)

第5回男鹿潟南秋新人ミニバスケットボール大会

- ◆男子の部
 - ▶優勝 五城目男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

第7回秋田県柔道形競技会

- ◆投の形中学生の部
 - ▶第2位 取: 小林 楽 (五城目一中2年)
 - 受: 小林 想 (五城目一中1年)

第31回能代弘道館杯柔道大会

- ◆中学生男子紅白勝抜試合
 - ▶優秀賞 小林 楽 (五城目一中2年)

第28回中央地区ソロコンテスト

- ▶金賞・優秀賞 鈴木 愛奈 (五城目一中2年)

第55回全県新年書きぞめ展

- ▶金賞 阿部理早子 (五城目小2年)
- 伊藤 輝 (五城目小2年)
- 小玉 蒼 (五城目小2年)
- 伊藤 凜 (五城目小3年)
- 畠山凌太郎 (五城目小3年)
- 伊藤 啓太 (五城目小4年)
- 島崎ひなた (五城目小4年)
- 伊藤 陽菜 (五城目小5年)
- 小熊ことみ (五城目小5年)
- 佐藤 紅花 (五城目小5年)
- 原田 孔明 (五城目小6年)
- 菅生 真姫 (五城目一中1年)



在宅医療を支えるため、医療・介護などの連携が必要と話す中鉢院長



「来年ももちつきをする」と話す102歳の加藤タミエさん(写真左)



大きなお鍋には行列もできたあったか鍋まつり

在宅医療介護を学ぶ合同会議

2月16日、第4回多職種合同会議を開催しました。会議には介護施設職員など55人が参加。「超高齢化社会における地域医療 高齢者が安心して地域で生活できるために」という演題で、湖東厚生病院の中鉢院長が講話を行いました。

また、五城目町居宅支援事業所管理者の布川敬子さんが医療との連携などの事例紹介を行いました。

広青苑・いこいの里で冬まつり

2月18日、広青苑・ケアハウスいこいの里で、「第19回冬まつり」が行われました。この冬まつりは、入居されているみなさんやご家族との交流をさらに深めてもらうと、毎年、開催しています。森山荘といこいの里の入居者がつくった彼岸花が食堂ホールに飾られ、集まった270人の冬まつり参加者は、もちつきやじゃんけん大会、くじ引き大会などのイベントで、みんな元気に冬の1日を楽しみました。

あったかお鍋でポッカポカ

2月20日、朝市通りで五城目朝市「あったか鍋まつり」が開催され、町内外から訪れた3,500人のお客さんでにぎわいました。当日は、いつもの冬野菜などの販売のほかに、たまご鍋やタラ鍋、きゃのこ汁、桶そばに加え、無料の岩手県大槌町の「サケ汁」、気仙沼産の焼きサンマが提供されました。また、朝市通りでは、もちつきや「カーボウリング大会」、福祿寿酒造の酒蔵開放などのイベントも開催されました。

浅見内に「お互いさまスーパー」



↑協定書に署名し握手を交わす渡邊会長(左)と三浦社長

2月17日、浅見内活性化委員会(会長渡邊律雄さん・浅見内6区)と有限会社ダイサン(東磯ノ目でスーパーを営業)が「浅見内地区買物支援協定」を締結しました。浅見内活性化委員会は、商品の仕入れや経営面などにダイサンの協力を得て、「お互いさまスーパー」を運営します。スーパーは、買物物の支援を必要とする地域の課題を解決し、住民の集いの場の創出を図りま

す。浅見内活性化委員会は、県の地方創生事業を活用して旧内川児童館を改装し、3月30日(水)に開店を予定しています。スーパーには生鮮食品や日用品を並べる予定で、ダイサンは取り扱う商品の仕入れのほか、売れ筋商品を紹介し、商品管理のノウハウの提供により、住民のスーパーの運営を手助けしていきます。

渡邊会長は、「スーパーにサロンも併設されるので、人が集まり、にぎやかになってほしい。また、ダイサンの三浦元社長は「五城目町で店を始めて20年になる。これからも、地域の役に立ちたい」と話しました。

町地域活性化支援センター

「五城目 + デザイン」
ワークショップを開催します



町地域活性化支援センターでは、ビジネスチャンスやまちづくりをデザインの視点から学ぶ「五城目 + デザイン」ワークショップを開催します。

2015年度グッドデザイン賞を受賞したシェアビレッジ町村や他の地域の成功事例などを学び、参加者でアイデアを出し合っ制作も行います。

お申し込み・お問い合わせ 町地域活性化支援センター (☎853・5155)

- ▶日時 第1回 3月11日(金) 午後6時から午後9時まで
第2回 3月12日(土) 午前9時から正午まで
- ▶会場 町地域活性化支援センター (旧馬場目小)
- ▶対象 どなたでも参加可能
- ▶定員 20人

町臨時的任用職員を募集します

- ①介護認定調査員 …… 2人
- ▶仕事内容 介護認定(新規・更新・区分変更)申請のあった方に対する自宅等への訪問調査並びに調査票の作成
 - ▶任用期間 4月1日～平成29年3月末(11ヶ月勤務)
 - ▶勤務時間 午前8時30分～午後5時15分
 - ▶基本賃金 6,000円(日額)
 - ▶必要な技術・資格 普通自動車免許

- ③浄水場作業員 …… 1人
- ▶仕事内容 浄水場・簡易水道の維持管理、浄水場の宿日直
 - ▶任用期間 4月1日～平成29年3月末
 - ▶勤務時間 日勤(午前8時30分～午後5時15分)、宿直(午後5時15分～午前8時30分)
 - ▶基本賃金 6,900円(日額・宿直1勤務)
 - ▶必要な技術・資格 普通自動車免許

- ⑤児童生徒学校生活サポート職員 …… 1人
- ▶仕事内容 障害のある児童生徒の学校生活サポート
 - ▶任用期間 4月1日～平成29年3月末
 - ▶勤務時間 1日6時間(授業のある日200日程度)
 - ▶基本賃金 6,000円(日額)

- ②青空号作業員 …… 1人
- ▶仕事内容 町道の維持管理(草刈、泥上げ、除雪など)
 - ▶任用期間 4月1日～平成29年3月末(11ヶ月勤務)
 - ▶勤務時間 午前8時30分～午後5時15分(冬期間早朝勤務あり)
 - ▶基本賃金 6,900円(日額)
 - ▶必要な技術・資格 普通自動車免許(厳守)、大型特殊自動車免許・車両系建設機械運転、技能講習済みの方を優遇

- ④学校校務員 …… 1人
- ▶仕事内容 学校敷地内外の環境整備、学校行事の準備、書類送達
 - ▶任用期間 4月1日～平成29年3月末(11ヶ月勤務)
 - ▶勤務時間 午前8時30分～午後5時15分
 - ▶基本賃金 5,700円(日額)
 - ▶必要な技術・資格 普通自動車免許

- ⑥すずむしクラブ指導員 …… 2人
- ▶仕事内容 小学校低学年児童の放課後保育
 - ▶任用期間 4月1日～平成29年3月末
 - ▶勤務時間 1日5時間(年250日程度)
 - ▶基本賃金 730円(時給) ※社会保険なし

- ⑦町民センター等施設管理員 …… 2人
- ▶仕事内容 宿直、日直(土・日・祝日)
 - ▶任用期間 4月1日～平成29年3月末(11ヶ月勤務)
 - ▶勤務時間 宿直(午後5時15分～午前8時30分)、日直(午前8時30分～午後5時15分)
 - ▶基本賃金 5,000円(日額)

※①～⑦共通事項

- ▶任用条件 平成28年4月1日時点で、満65歳未満の方
- ▶申し込み 3月11日(金)まで、役場総務課へ履歴書を持参
- ▶面接 3月18日(金)に実施
- ▶その他 社会保険・雇用保険加入(⑥を除く)

お問い合わせ 町総務課 (☎852・5332)

ふるさとを想う

ふるさと五城目会

一関大輔

1999年に高校を卒業し、大学進学を期に五城目町を離れてあっという間に故郷で過ごした18年と同じくらいの月日が経過しました。夏や冬には毎年のように実家に帰省しておりますが、以前はその度よく遊んでいた友人とも年々顔を合わせる機会が減ってきており「最近どうしてるのかな?」「元気に生活してるのかな?」と寂しさを感じます。それでもスマートフォンや通信機器等の便利な機能もあって、ネット上では近況をすぐ知る事ができ、多方面での活躍にとりあえずは安心しております。

話題は変わりますが、毎月の広報を拝読している中で、最近五城目町の人口が1万人を割ったと知り、自分が幼少のころには考えられなかったことだと大変驚いております。そんな状況に対し町として移住や起業される方を対象にいろいろと応援する制度を行っておるよう自分としても何かできることはないかなと考えるさせられます。自分は現在関東在住にて、ふるさと五城目会へ携わらせていただいておりますので、その中で五城目町発展への何かしらお手伝いができればと思っております。最後にありますが、今度五城目に帰った時は友人と顔を合わせ五城目弁で近況でも語らいたいからうまい酒でも飲みたいものです。



中央部後方で眼鏡を掛けているのが自分です

ごじょうめの文芸

一短歌一
生きてゆく日々の簡潔尊として
冬至粥今朝はほのぼのと食ふ
根来寺の金木犀をいただきて
一葉額の角に添えおり
雪ま降る光のなかにふわふわと
降っても積もらぬ二月の雪は
病院に番待つ人を労えは
「来られるだけで幸せと云う」
野を駆けて野蒜を抜きし遠き日よ
葉を分けて花芽をさがす君子欄
幸せの空明かるくて二月かな
雪晴や猫の足あと隣まで
眼鏡拭く布軟らかく春迎ふ
雪囲ひ老いて力に技もなし
「一川柳一」
夢のせて飛ばしてやった紙風船
深呼吸心しずかに時刻む
聞く耳を持たぬ親父の五寸釘
千年の森に樹齢は語らない

昭辰町 本間 富子
湯ノ又 畑沢タマ子
新畑町 近江 三保
上田町 工藤ミネ子
上田町 石井美智子
上樋口 猿田ひろ子
長町 平川のぶ子
一番町 加藤 星花
新里町 加藤 円心
館町 細田 陽炎

斎藤 諒一
畑沢 英子
藤田 則子
小濱 キエ



新着図書を紹介

- 異類婚姻譚 (本谷有希子著) 第154回芥川賞受賞作
- 死んでいない者 (滝口悠生著) 第154回芥川賞受賞作
- つまをめとらば (青山文平著) 第154回直木賞受賞作
- 家族という病 (下里暁子著)
- 孤狼の血 (袖月裕子著)
- 人魚の眠る家 (東野圭吾著)

※お問い合わせ 中央公民館 (☎852・4411)



毎月たくさんの新刊が揃っています

政治と税金と私たち

五城目第一中学校3年

渡部 泉

最近の若者はあまり政治に興味、関心をもたない、と言われることが少なくない。それが最も明らかになっているとされているのは選挙の投票率だ。この割合が若い世代ほど低い。もちろんそのことは社会的にも問題視され、改善策も出されている。

しかし私は若者が政治に興味や関心をもたないとは思わない。政治の動きは多からず、少なからず社会に影響を与える。ということでは自分自身の生活や未来にも影響を与えるということができる。このことを誰もが身をもって実感するのが「税金」という存在だろう。私たちは市町村や県といった自治体や国に税金を納めている。ではそれぞれでどんな予算案がくまれているかなど注目する人もい

る。これは税金のやりとりが納税者と国との信頼関係があつてこそ成り立っていると言える。私が今あたり前のように受けている教育も公的サービスも全て税金が深く関わっている。

例えば1人の子どもが義務教育を終えるまで806万円くらいの税金が使われている。これは納税者や国が未来を担うことのため十分に教育をもっているからだろう。また高齢化が進行するなかで充実を図る社会保障がある。しかし高齢化社会の今、対応しきれず増税にふみ切っている。若い世代への負担が大きく、景気の向上もあまり見られないため、先延ばしになるケースもある。

このように人と国の架け橋となつていくがその関係をゆるがすことも起きている。

東日本大震災からの復興に充てる目的で復興特別税が徴収された。この震災からの復興は誰もが願っている。しかしその思いとは裏腹に復興予算が被災地以外への流用が相次いだのだ。その理由は自治体などの「基金」にお金が入ると政府の目が行き届きにくくなるということ。そのようなこと

中学生の税についての作文コンクール
今月号では、平成27年町納税貯蓄組合連合会長賞を受賞した渡部泉さん(五城目一中3年)の作品を紹介します。

簡単に解決するとも思わないが使用されたものを言ってもらわねえか。今後東京オリンピックに向けても公約の一つとして上げている震災からの復興をいち早く進めてほしい。

政治への第一歩、国や自治体と納税者をつなぐ架け橋である税金。いまだに政治という言葉に重みや難しさを感じているのならば税金というやさしい窓口から入っていつかはどうだろうか。きつといつかはそこからこれからの自分自身の生活、日本の未来を見ていることだろう。また国・自治体への大きな思いや期待の架け橋となつている税金。いまだ完全とはいえない復興、少子高齢化への対策やサービスの充実などの実現に向けこれからは税金が有効な使い方をされ、思いの実現につな

グロブアル社会となつている今、世界に目を向けるといわれている。しかしたまには自分の足もとを見てほしい。そしてその政治に興味と感心をもち税金の役わりを実感し、今後自分は何ができるのか、税金で何をされているのかを考えてほしい。



マイナンバー

「個人番号カード」受け取り時に

本人確認と

暗証番号の設定をします

個人番号カードの交付申請をされた方に、交付通知書(はがき)を順次送付しています。

カード交付手続きの際は、厳格な本人確認および暗証番号の設定を行うため、20分程度の時間を要します。必要書類をご確認のうえ、ご本人が来庁してください。

ご本人が来られない場合は、必要書類が異なりますので、役場住民生活課マイナンバー担当へお問い合わせいただくか、「個人番号カード総合サイト」や「役場ホームページ」などでご確認ください。

個人番号カードはマイナンバーの証明や公的な本人確認書類となります。なりすまし防止のため、厳格な本人確認や書類提出が必要となることに、ご理解とご協力をお願いします。



本人が来庁する場合の必要な持ち物

- 通知カード、交付通知書(はがき)、下記の①または②の書類
- ①運転免許証・写真付住基カード・パスポート・身体障害者手帳など顔写真付きの書類1点
- ②健康保険証・年金手帳・社員証・学生証・預金通帳など顔写真なしの書類2点

お問い合わせ 町住民生活課マイナンバー担当 (☎852・5112)

町長の主な予定(3月)

- 1/五城目高等学校卒業証書授与式
- 2/率浦大学修了式(町民センター)、保護司地域別定例研修会(役場)
- 3/3月議会定例会 (~11日・役場)
- 10/五城目第一中学校卒業証書授与式
- 16/五城目小学校卒業証書授与式
- 23/八郎湖周辺清掃事務組合定例会(男鹿市)
- 29/社会福祉協議会理事会 (町内)

町長交際費を公開します

町では、行政運営の一層の透明性を図り、町民に開かれた「誇りと信頼のあるまちづくり」を進めるために、町長交際費の支出状況を公開します。

❖交際費の支出状況(1月)

分類	件数	内 容	支出額
会 費	8件	在京秋田県人新春交歓会、町交通指導隊新年会、湖東3町商工会新春賀詞交歓会・合併10周年記念式典懇親会、千代田区とのこども交流会交歓会、馬場目地区町内会長会地区座談会懇親会 湯ノ又町内会感謝会、五城目北都会新年会・支店長歓迎会、瀧上湖東地区保護司会五城目ブロック研修会・新年会	43,000円
接 遇	7件	来客時お土産(6件)、首都圏企業との懇談会	48,060円
その他	26件	各消防団出初式祝賀会、内川地区新春の集い、瀧上湖東地区保護司会五城目ブロック研修会・新年会、消防友の会総会、雀館町内会新年会、グローバルフィールド演習秋田ユニット交流会、キイチゴ研究会報告会・総会、馬川地区新春講話会、千代田区とのこども交流会交歓会、森山地区新春の集い、五城目菓子組合新年会、民生児童委員全体会、婦人会研修会・結核予防婦人会研修会、秋田建築労働組合五城目支部総会	95,804円
合 計	41件		186,864円
平成27年4月~平成28年1月の合計			1,157,229円

五城目町民憲章

わたくしたちは郷土を愛し五城目町民であることに誇りをもち、歴史と伝統をうけつぎ創造性ゆたかな町をつくる願いをこめてこの憲章を定めます。



- 1、自然と親しみ美しい町をつくりたい
- 1、たがいに助けあい思いやりのある町をつくりたい
- 1、教育を進め文化の香り高い町をつくりたい
- 1、元気で働き活力に満ちた町をつくりたい
- 1、きまりを守り明るい町をつくりたい

申告相談日程

町名	日付と曜日	会場
岩城町	3/1 火	役場4階「大会議室」
東磯ノ目・西磯ノ目	3/1 火	役場4階「大会議室」
岡本1区・野田	3/2 水	森山地区公民館
岡本2区・浦横町	3/3 木	森山地区公民館
湯ノ又(1~4区)・小川口	3/4 金	森山地区公民館
浅見内(1~6区)	3/7 月	生きがいセンター
大川1・4区	3/8 火	生きがいセンター
大川2・3区	3/9 水	生きがいセンター
石崎・谷地中・曙町	3/10 木	農村環境改善センター
下樋口・西野	3/11 金	農村環境改善センター
予備日とします。	3/14 月	
予備日とします。	3/15 火	

※予備日は、大変混雑しますので、早めの申告相談をお願いします。

所得税と町民税の申告相談は3月15日(火)までです

平成27年分所得税と平成28年度町民税の申告相談は3月15日(火)まで実施しています。期限内の申告相談にご協力ください。相談時間は午前9時~正午、午後1時~午後3時です。(受付は午前8時30分~午後3時)
※土曜・日曜・祝日を除きます。
※都合がつかない場合は、割当外の会場でも相談受付を行います。

人権困りごと相談

問い合わせ先
町総務課 (☎852・5332)
人権などの困りごとについて、人権擁護委員にお気軽にご相談ください。
▶人権困りごとなんでも相談室
・日時 3月17日(木)
午後3時～午後5時
・会場 朝市ふれあい館

防衛省採用試験のお知らせ

問い合わせ先
自衛隊秋田募集案内所 (☎864・4929)
防衛省では28年度採用試験を次のとおり行います。
▶種目 自衛隊幹部候補生(一般・歯科・薬剤科)
▶受験資格
・一般
大卒: 22歳以上26歳未満の者
院卒: 修士課程修了者等で20歳以上28歳未満の者
※併願可
・歯科 20歳以上30歳未満の歯学の課程を修めて卒業(見込み含む)した者
・薬剤科 20歳以上28歳未満の薬学の課程を修めて卒業(見込み含む)した者
▶受付 3月1日(火)～
5月6日(金)まで
▶試験 5月14日(土)、15日(日)
※15日は飛行要員のみ

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

申し込み・問い合わせ先
秋田の森林活用地域協議会(☎882・5570)
地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して実施する、里山林の保全、森林資源の利活用、森林環境教育・研

修活動などの取組に対し、一定の費用を国が支援します。

- ①地域環境保全タイプ
里山林景観を維持するための活動
 - ②森林資源利用タイプ
しいたけ原木等として利用するための伐採活動
 - ③教育・研修活動タイプ
森林環境教育の実践
 - ④森林機能強化タイプ
路網の補修・機能強化等
- ※詳細は上記までお問い合わせください。

電力小売全面自由化についてのお知らせ

問い合わせ先
経済産業省電力取引監視等委員会事務局 (☎03・3501・5725)
4月1日から電力小売の全面自由化が始まります。全面自由化により家庭でも電力の購入先を自由に選べるようになります。
電力の購入契約の際には、毎月の電気料金や解約金などの契約解除の制約等を十分にご確認ください。

内川地区公民館 大正琴体験講座

申し込み・問い合わせ先
内川地区公民館 (☎854・2314)
男女、経験の有無は問いません。どなたでもお気軽にご参加ください。
▶期日 4月9日(土)毎週土曜日 (全3回)
▶時間 午後1時30分～午後3時
▶講師 永井美世子さん(雀籠)
▶持参品 筆記用具、大正琴(お持ちの方)
※参加料は無料です。

求職者のための公共職業訓練受講生を募集

問い合わせ先
ポリテクセンター秋田 (☎873・3178)
▶訓練期間 5月10日(火)～10月31日(月) (6か月)
▶訓練時間 午前9時20分～
午後3時40分
▶会場 ポリテクセンター秋田 (潟上市)
▶訓練科(定員)
・金属加工技術科(15人)
・住宅リフォームデザイン科(15人)
▶募集期間 3月23日(火)まで
▶受講料 無料(テキスト代等は自己負担)
▶応募資格 ハローワークに求職申込をされた方で、新たな技術・技能を身につけて再就職を希望される方
※講習内容などの詳細は、上記問い合わせ先または同センターHPまで。

環境と文化のむらイベント 体験教室と自然観察会

問い合わせ先
県環境と文化のむら (☎852・2202)
▶開催日時とイベント
・3月13日(日)
「春一番の里山さんぽ」
春一番の生きものや芽生えを探してみよう。
▶時間 午前10時～正午
▶会場 環境と文化のむら (野鳥の森)
※参加は無料。お申し込みは上記問い合わせ先まで。

町農業再生協議会 事務補助員を募集します

問い合わせ先
町農林振興課 (☎852・5215)
五城目町農業再生協議会の事務補助員を募集します。
農業経営所得安定対策推進事業…1人
▶仕事の内容 作付計画・ほ場の確認・申請受付、データ入力作業など
▶任用期間 平成28年4月1日～平成29年3月末
▶勤務時間 午前8時30分～午後5時15分
▶基本賃金 5,700円(日額)
▶必要な技術・資格 普通自動車免許、パソコン操作
▶申し込み 3月11日(金)まで役場農林振興課へ履歴書を持参

社会福祉協議会へ寄せられた善意

問い合わせ先
町社会福祉協議会 (☎852・5192)
▶香典返しに代えて
・2月1日 3万円 □□□□さん
中高崎(亡き母 □□さん)
・2月3日 3万円 □□□□さん
蓬内台(亡き妻 □□□さん)
・2月8日 3万円 □□□□さん
久保(亡き母 □□さん)
・2月10日 3万円 □□□□さん
矢場崎(亡き妻 □□さん)
▶寄付金
・12月31日 10万円 匿名
・2月1日 2万円 五老連
アルミ缶売り上げの一部

五城目町教育委員会 3月定例会を一般公開します

町教育委員会では、開かれた教育行政を目指すとともに、活動を広く町民の皆さんにお知らせする目的で、教育委員会の定例会を公開しています。
※議事によっては、一部非公開となる場合があります。
▶日時 3月30日(水) 午後1時30分～
▶会場 役場2階正庁
※傍聴を希望される方は、当日の午後1時30分まで、直接会場へお越しください。

お問い合わせ 町教育委員会学校教育課 (☎852・5372)

ルールを守ってたのしいくらし

飲酒運転等追放競争がスタート!

飲酒運転等追放競争は、各市町村の住民の飲酒運転または飲酒運転が原因の事故の件数などを点数化し、これに対する当該市町村の運転免許人口の割合により順位を競うものです。なお、重大な事故ほど減点が大きくなります。

当町の平成27年の結果は、3人の酒気帯び運転があり全県25市町村中7位の結果でした。

町内会、家族、職場、仲間同士で呼びかけあい、飲酒運転ゼロを目指しましょう。上位市町村は県知事から表彰されます。



平成28年飲酒運転等追放競争結果1位(全県25市町村)平成28年1月末現在
※1月末までの酒気帯び運転などでの検挙者はゼロです。

枝豆「あきた香り五葉」のみを使用 つぶつぶ食感が楽しい!

JAあきた湖東と花立牧場ミルジの共同開発

枝豆アイス

好評販売中/全国発送も承ります!

枝豆アイス取扱店
JA農産物直売所「湖東のやさしい畑」 ☎893-6230
秋田まるごと市場/秋田新幹線「こまち」車内販売/秋田空港
花立牧場工房ミルジ商品取扱店

第14回 ムーブメント

GOJOME 夢舞明人 発表会

●日時 3月6日(日) 午後1時30分開演 (午後1時開場)
●会場 八郎潟町 農村環境改善センター
●入場料 無料

お問い合わせ 絳尚陽子(☎852・3627)

建築物の解体工事・除排雪 承ります

解体解体工事
秋田県豊後町
(豊-25)第4-66号
価格等は
ご相談に応じます。

秋田グリーン企画
澤田石 俊行 (一級土木施工監理士・解体工事業者登録・認定農業者)

五城目町内川瀬/又字後田107-2 TEL.854-2280 携帯.090-7937-7311

広告募集集中!
広報「ごじょうめ」に広告を載せてみませんか。
詳しくは、広報担当まで
(☎852・53342)

3月町民カレンダー

※このページに載せる楽しい写真を
お待ちしております。「広報ごじょうめ」担当まで

日	月	火	水	木	金	土
2月28日	29	3月1日	2	3	4	5
		○子育てサロン (ケアセンター五城目・10:00~)	○率浦大学修了式 (町民センター・10:00~)	○町議会3月定例会 (役場議場・11日まで)		
6		8	9	10	11	
		○子育てサロン (ケアセンター五城目・10:00~)	○朝市健康相談 (朝市ふれあい館・10:00~)	○ほっとサロン(ケアセンター五城目・13:00~)	○膝らくフォローアップ教室(朝市ふれあい館・13:30~)	
13	14	15	16	17	18	19
○弁護士による無料困りごと相談会 (五城館・13:00~)		○子育てサロン (ケアセンター五城目・10:00~)	○朝市健康相談(朝市ふれあい館・10:00~)	○ほっとサロン(ケアセンター五城目・13:00~)	○五城目小・五城目一中修了式	
		○子育てサロン(ケアセンター五城目・10:00~)	○五城目小卒業証書授与式(五城目小・10:00~)	○ほっとサロン(ケアセンター五城目・13:00~)	○えがおカフェ(認知症カフェ)(大川地区公民館・13:30~)	○食育の日 
20	21	22	23	24	25	26
○春分の日		○五城目小・五城目一中春季休業(4月5日まで)	○町議会議員一般選挙告示日(役場・8:30~)			
○スポーツ賞授与式(町民センター・14:00~)	○振替休日	○子育てサロン(ケアセンター五城目・10:00~)	○子育てサロン(ケアセンター五城目・10:00~)	○ほっとサロン(ケアセンター五城目・13:00~)	○朝市健康相談(朝市ふれあい館・10:00~)	
		○五城目小・五城目一中春季休業(4月5日まで)	○町議会議員一般選挙告示日(役場・8:30~)			
27		28	29	30	31	4月1日
○町議会議員一般選挙投票日		○五城目小離任式(五城目小・9:00~)	○五城目一中離任式(五城目一中・9:00~)		○ほっとサロン(ケアセンター五城目・13:00~)	
		○子育てサロン(ケアセンター五城目・10:00~)	○子育てサロン(ケアセンター五城目・10:00~)			

車・バイクの販売から整備、修理まで……佐藤自動車にお任せください!



アクレッシュ・コンパクト
IGNIS
新型 イグニス 誕生

下取り価格が
ご不満の方は
高価買い取り!

4WD・CVT 1,735,560円

(有)佐藤自動車 整備工場
南秋田郡五城目町一番町 ☎(018)852-2059

平成27年度環境標語コンクール最優秀受賞作品(五城目小 大石 舞雪さん) 「めんどくさい」この一言が 環境破壊



2016年4月ごみ収集日程表

可燃ごみ	収集町内		収集日	曜日
	新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町・今町 御蔵町・小池町・川原町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・仲町・長町・米沢町・築地町・畑町・新畑町	馬場目地区・富津内地区・内川地区 大川地区全域	4日・7日・11日 14日・18日・21日 25日・28日	月・木 火・金
資源ごみ	収集町内		収集日	曜日
	雀館・昭辰町・館町・中川原・岩城町・樋口 矢場崎・東磯ノ目・西磯ノ目・馬川地区 森山地区・ななくら(仮称)	馬場目地区・富津内地区・内川地区 大川地区全域	1日・5日・8日 12日・15日・19日 22日・26日	火・金
資源ごみ	収集町内		収集日	曜日
	田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	馬場目地区・富津内地区・内川地区 大川地区全域	2日・6日・9日 13日・16日・20日 23日・27日・30日	水・土
資源ごみ	収集町内		収集日	曜日
	田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	馬場目地区・富津内地区・内川地区 大川地区全域	11日(月) 12日(火) 13日(水) 14日(木) 8日(金)	月 火 水 木 金
資源ごみ	収集町内		収集日	曜日
	田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	馬場目地区・富津内地区・内川地区 大川地区全域	9日(土) 23日(土)	土
資源ごみ	収集町内		収集日	曜日
	田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	馬場目地区・富津内地区・内川地区 大川地区全域	6日・20日(水) (全町)	水
資源ごみ	収集町内		収集日	曜日
	田町・上田町・新町・一番町・古川町 紀久栄町・館町・中川原・樋口・岩城町	馬場目地区・富津内地区・内川地区 大川地区全域	9日(土) 23日(土)	土

◆収集日にご注意ください
4月29日(金)昭和の日は、可燃ごみの収集を休みます。

◆次のことを必ず守ってください。
ごみ袋は、必ず名前を書いて、午前8時までに届けてください。

◆大量のごみが出る場合は、町の許可業者へ処理を依頼してください。

※収集に関するお問い合わせは、
住民生活課 ☎0852-29600

①(有)丸の内サービス ☎845-7099
②加藤商事 ☎852-2960

4月は粗大ごみを収集します

注意

- これより寸法の大きいものは収集しません。
- 処理手数料として、粗大ごみと書かれた**緑色の票せん**を一品につき一枚つけてください。例外として、10kg以内にまとめてよいもの。スキー板とストック(スキー靴は可燃ごみ)、ゴルフセット、ござ、座布団、雪べら。
- 緑色の票せん**が付いていないもの、名前の書かれていないもの、しっかりとこん包できていないものは収集しません。※青色の票せんは使用できません。
- 粗大ごみの中に**他のごみを入れない**でください。
- 雨どい、トタン、煙突等の建築廃材は収集しません。

対象地区(町内名)	収集日
馬場目地区	4月1日(金)
大川地区	4月4日(月)
馬川地区・森山地区	4月5日(火)
富津内地区・内川地区	4月7日(木)
今町・御蔵町・小池町・川原町・新町・一番町・古川町・紀久栄町	4月15日(金)
新里町・広ヶ野・希望ヶ丘・東磯ノ目・西磯ノ目・矢場崎・ななくら(仮称)	4月18日(月)
仲町・長町・米沢町・雀館・昭辰町・館町・中川原・樋口・岩城町	4月19日(火)
築地町・畑町・新畑町・田町・上田町	4月21日(木)
全町【午前9時~午後4時 町ストックヤード(小倉) 会場で粗大ごみを直接受け付けします。 ※票せんも会場で販売】	4月24日(日)

